

2021年1月28日
株式会社日本政策金融公庫

第207回 信用保証利用企業動向調査結果の概要

(2020年10～12月期実績、2021年1～3月期見通し)

[概況] 信用保証利用企業の資金繰りは、やや改善している。
～景況は、持ち直しの動きがみられるものの、厳しい状況が続いている～

- 【金融関連】 ○ 資金繰りD.I.は、▲24.4とマイナス幅がやや縮小した。
○ 借入難易感D.I.は、▲2.4とやや低下し、2期ぶりにマイナスとなった。
○ 今期に借入を実施した企業の割合は、大幅に減少した。
- 【保証利用】 ○ 今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、減少した。
○ 来期(21年1～3月)における保証利用要請D.I.は、0.0と横ばいとなった。
※ 保証利用要請D.I. …金融機関による保証利用要請が「強くなると思う」企業の割合－「弱くなると思う」企業の割合。
- 【生産等】 ○ 生産・売上D.I.は、▲38.8とマイナス幅が縮小した。
○ 採算D.I.は、▲38.7とマイナス幅が縮小した。

【特別調査】「新型コロナウイルス感染症の影響及び金融支援の利用状況について」

- 企業活動へのマイナスの影響については、調査時点(12月中旬)において、「現在影響あり」と回答した企業は69.7%と、前回調査に比べ低下しているが、「現在影響はないが、今後影響が出る可能性が高い」と回答した企業は23.9%に上昇している。
- 資金繰り対策として、20年10～12月に金融支援を「利用した」と回答した企業は36.7%に低下している。また、利用した金融支援は、「信用保証付き融資」が72.8%と最も高い。
- 今後の金融支援の利用に係る検討状況については、「検討している」と回答した企業が51.9%と前回調査と同様となっている。

| | | |
|---------|---------|--|
| ＜調査の要領＞ | 調査時点 | 2020年12月中旬 |
| | 調査対象 | 9地域(北海道、宮城、東京、愛知、石川、大阪、広島、香川、福岡)の信用保証協会利用先 16,000企業を対象としており、 回答企業の約82%が従業員20人以下の小規模企業 となっています。 |
| | 有効回答企業数 | 4,665企業 |
| | 回答率 | 29.2% |

＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 Tel:03-3270-2384(担当:新井田、宮本、山嶋)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

資料編につきましては[こちら](#)をご覧ください。

(1) 資金繰り

・資金繰りD.I.は、▲24.4とマイナス幅がやや縮小した。
来期の見通しについては、▲27.5となっている。

| | | 2019/10-12 | 2020/1-3 | 4-6 | 7-9 | 10-12 | 2021/1-3 |
|----------|-----|------------|----------|-------|-------|-------|----------|
| 資金繰りD.I. | 実績 | ▲13.1 | ▲22.7 | ▲54.4 | ▲28.5 | ▲24.4 | |
| | 見通し | ▲6.5 | ▲8.3 | ▲27.0 | ▲38.6 | ▲29.1 | ▲27.5 |

(注) 前期比。資金繰りD.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

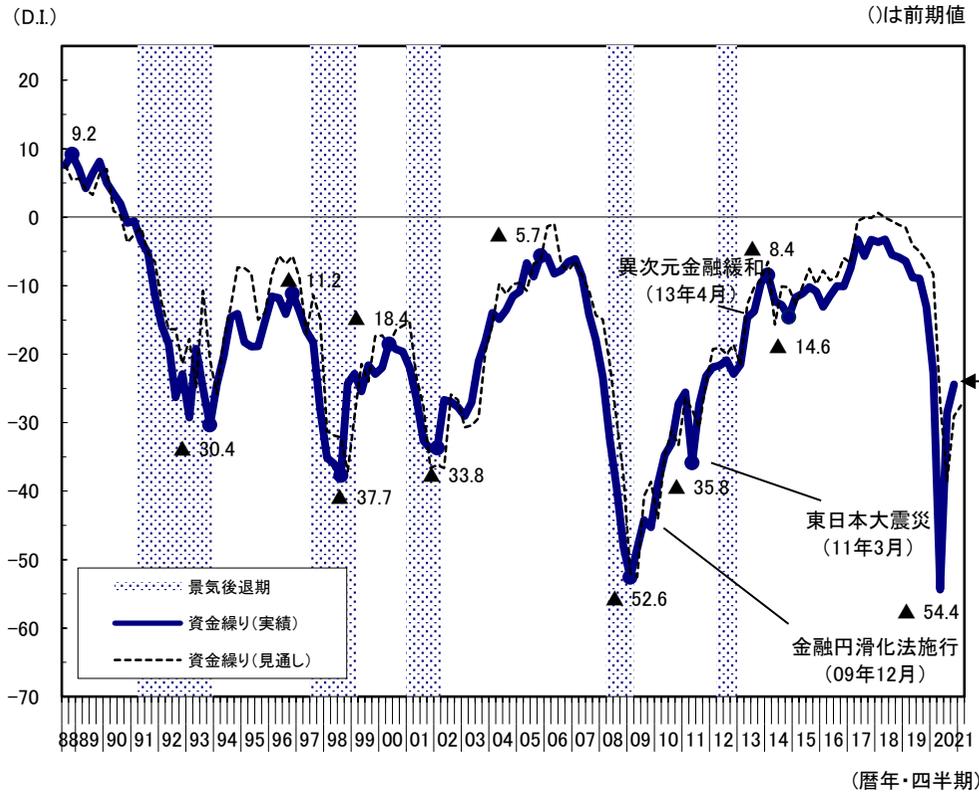
(2) 借入難易感

・借入難易感D.I.は、▲2.4とやや低下し、2期ぶりにマイナスとなった。
来期の見通しについては、▲22.0となっている。

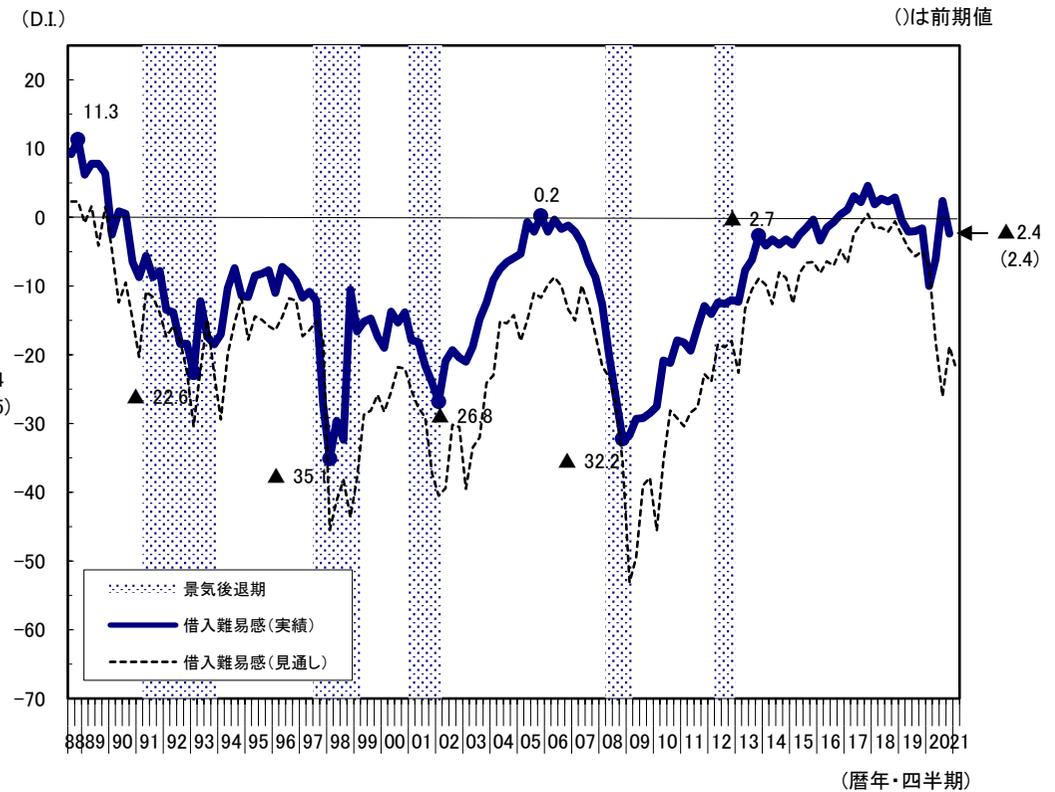
| | | 2019/10-12 | 2020/1-3 | 4-6 | 7-9 | 10-12 | 2021/1-3 |
|-----------|-----|------------|----------|-------|-------|-------|----------|
| 借入難易感D.I. | 実績 | ▲1.6 | ▲10.0 | ▲6.1 | 2.4 | ▲2.4 | |
| | 見通し | ▲4.9 | ▲7.2 | ▲18.1 | ▲26.0 | ▲18.8 | ▲22.0 |

(注) 前期比。借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

資金繰りD.I.(季節調整値)の推移



借入難易感D.I.の推移



(3) 借入状況

・今期に借入を実施した企業の割合は、大幅に減少した。

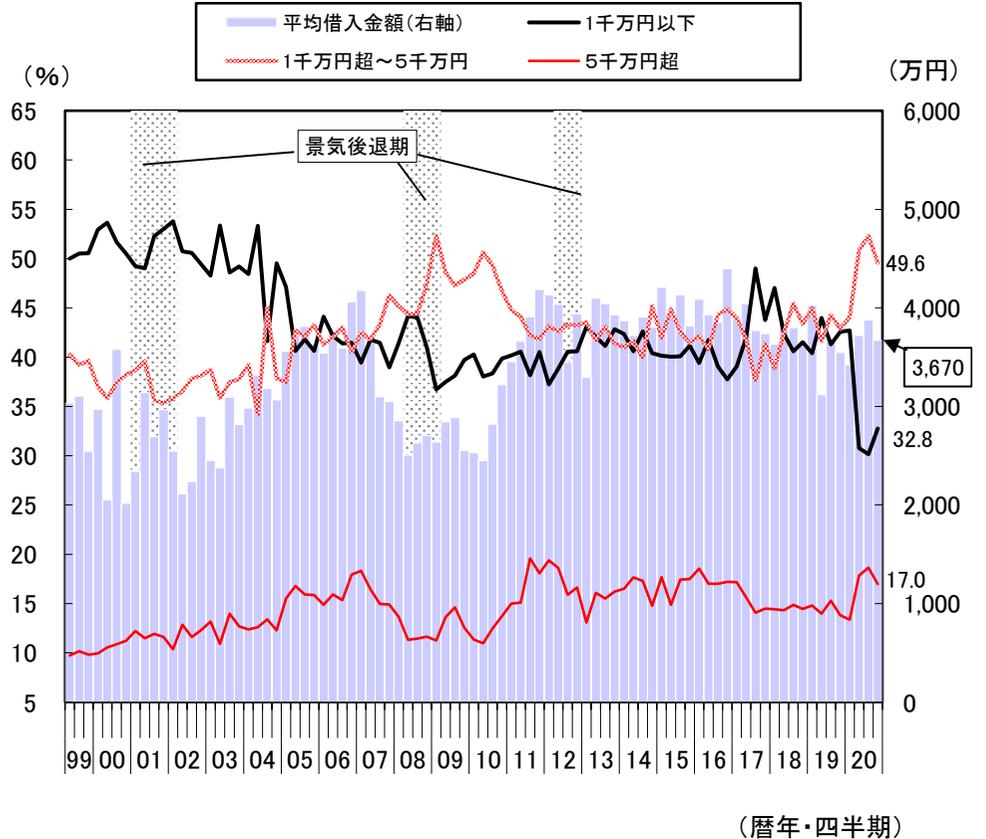
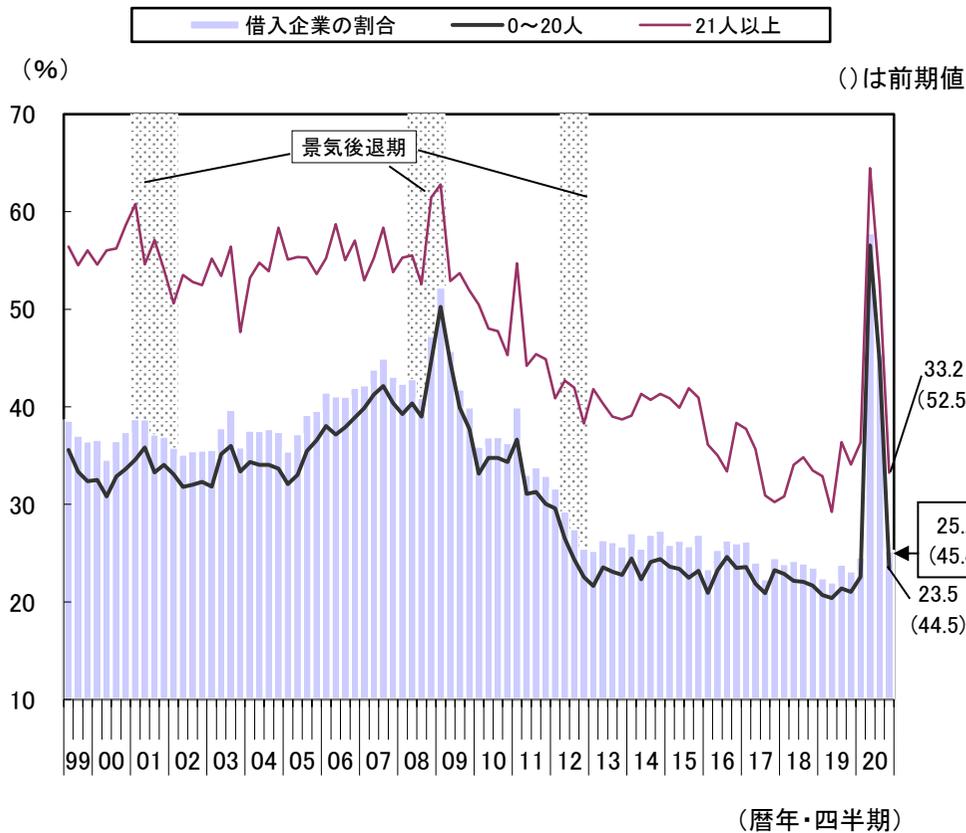
・一社あたりの借入金額別構成比は、「1千万円以下」がやや増加した一方で、「1千万円超～5千万円」及び「5千万円超」がやや減少した。

① 借入を実施した企業の割合(季節調整値)

| | 2019/10-12 | 2020/1-3 | 4-6 | 7-9 | 10-12 |
|---------|------------|----------|------|------|-------|
| 借入企業の割合 | 23.2 | 24.6 | 57.8 | 45.4 | 25.2 |
| 0-20人 | 21.0 | 22.6 | 56.5 | 44.5 | 23.5 |
| 21人以上 | 34.1 | 36.3 | 64.5 | 52.5 | 33.2 |

② 一社あたりの借入金額別構成比(季節調整値)

| | 2019/10-12 | 2020/1-3 | 4-6 | 7-9 | 10-12 |
|------------|------------|----------|------|------|-------|
| 1千万円以下 | 42.6 | 42.7 | 30.8 | 30.2 | 32.8 |
| 1千万円超～5千万円 | 42.9 | 44.1 | 50.9 | 52.3 | 49.6 |
| 5千万円超 | 13.8 | 13.4 | 17.8 | 18.7 | 17.0 |



(注)「借入」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計したものである。

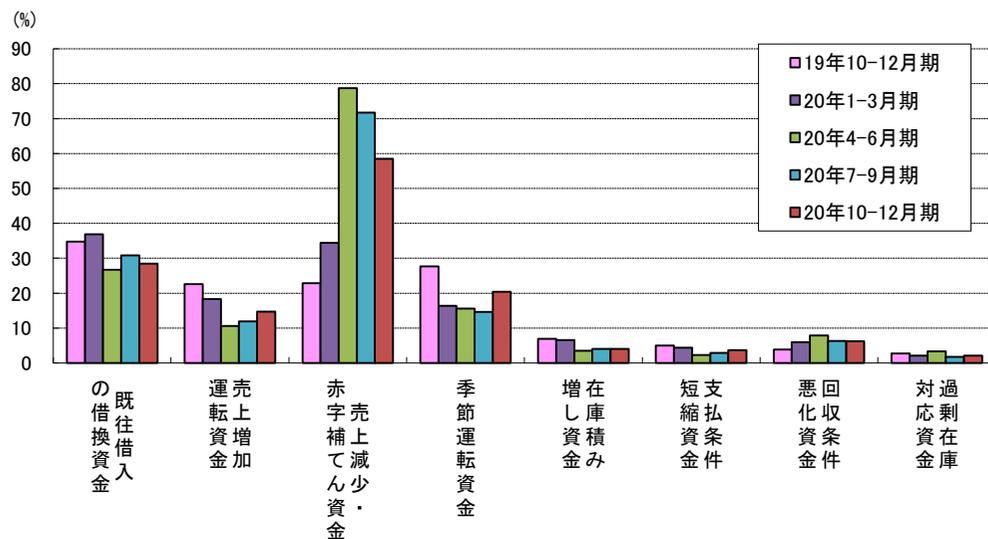
- ・資金用途については、運転資金が引き続き90%超となっている。
- ・運転資金の内訳では、「売上減少・赤字補てん資金」の割合が58.5%と大幅に減少したものの、引き続き高い水準となっている。

③-1 資金用途の構成

| | 運転資金 | 運転・設備資金 | 設備資金 |
|------------|------|---------|------|
| 20年10-12月期 | 90.7 | 4.9 | 4.4 |
| 20年7-9月期 | 94.2 | 4.0 | 1.8 |
| 20年4-6月期 | 95.2 | 3.6 | 1.1 |
| 20年1-3月期 | 86.0 | 4.3 | 9.7 |
| 19年10-12月期 | 84.5 | 5.8 | 9.7 |
| 19年7-9月期 | 83.4 | 5.2 | 11.5 |
| 19年4-6月期 | 83.9 | 5.3 | 10.8 |
| 19年1-3月期 | 86.8 | 4.5 | 8.7 |
| 18年10-12月期 | 86.0 | 4.7 | 9.3 |
| 18年7-9月期 | 84.8 | 4.9 | 10.4 |
| 18年4-6月期 | 83.4 | 5.5 | 11.1 |
| 18年1-3月期 | 83.9 | 5.4 | 10.7 |
| 17年10-12月期 | 83.7 | 6.4 | 9.9 |
| 17年7-9月期 | 80.8 | 6.5 | 12.6 |
| 17年4-6月期 | 80.7 | 8.6 | 10.7 |
| 17年1-3月期 | 86.6 | 4.1 | 9.3 |
| 16年10-12月期 | 87.0 | 5.3 | 7.6 |
| 16年7-9月期 | 86.2 | 5.1 | 8.8 |
| 16年4-6月期 | 85.9 | 4.9 | 9.2 |
| 16年1-3月期 | 85.8 | 5.5 | 8.8 |
| 15年10-12月期 | 86.7 | 4.8 | 9.5 |
| 15年7-9月期 | 84.3 | 5.1 | 10.6 |
| 15年4-6月期 | 88.8 | 4.2 | 8.1 |
| 15年1-3月期 | 88.5 | 4.1 | 7.4 |
| 14年10-12月期 | 89.3 | 4.5 | 7.3 |
| 14年7-9月期 | 88.1 | 4.1 | 7.8 |
| 14年4-6月期 | 87.9 | 4.6 | 8.5 |
| 14年1-3月期 | 84.3 | 5.2 | 10.6 |
| 13年10-12月期 | 87.0 | 4.3 | 8.7 |
| 13年7-9月期 | 87.9 | 5.1 | 7.0 |
| 13年4-6月期 | 88.1 | 4.8 | 8.1 |
| 13年1-3月期 | 89.8 | 3.8 | 6.3 |
| 12年10-12月期 | 90.3 | 4.0 | 5.7 |
| 12年7-9月期 | 90.1 | 4.6 | 6.3 |
| 12年4-6月期 | 87.4 | 6.0 | 6.6 |
| 12年1-3月期 | 86.8 | 5.3 | 7.9 |
| 11年10-12月期 | 89.6 | 5.0 | 5.4 |
| 11年7-9月期 | 87.7 | 6.0 | 6.3 |
| 11年4-6月期 | 88.6 | 4.8 | 6.7 |
| 11年1-3月期 | 91.5 | 4.6 | 3.9 |

③-2 運転資金の内訳

| (原数値) | 既往借入の借換資金 | 売上増加運転資金 | 売上減少・赤字補てん資金 | 季節運転資金 | 在庫積み増し資金 | 支払条件短縮資金 | 回収条件悪化資金 | 過剰在庫対応資金 |
|------------|-----------|----------|--------------|--------|----------|----------|----------|----------|
| 20年10-12月期 | 28.5 | 14.7 | 58.5 | 20.4 | 4.0 | 3.7 | 6.2 | 2.1 |
| 20年7-9月期 | 30.8 | 11.9 | 71.7 | 14.6 | 4.0 | 2.9 | 6.3 | 1.8 |
| 20年4-6月期 | 26.7 | 10.6 | 78.7 | 15.6 | 3.5 | 2.3 | 7.9 | 3.3 |
| 20年1-3月期 | 36.9 | 18.3 | 34.4 | 16.4 | 6.6 | 4.4 | 6.0 | 2.1 |
| 19年10-12月期 | 34.8 | 22.6 | 22.9 | 27.7 | 6.9 | 5.0 | 3.9 | 2.7 |



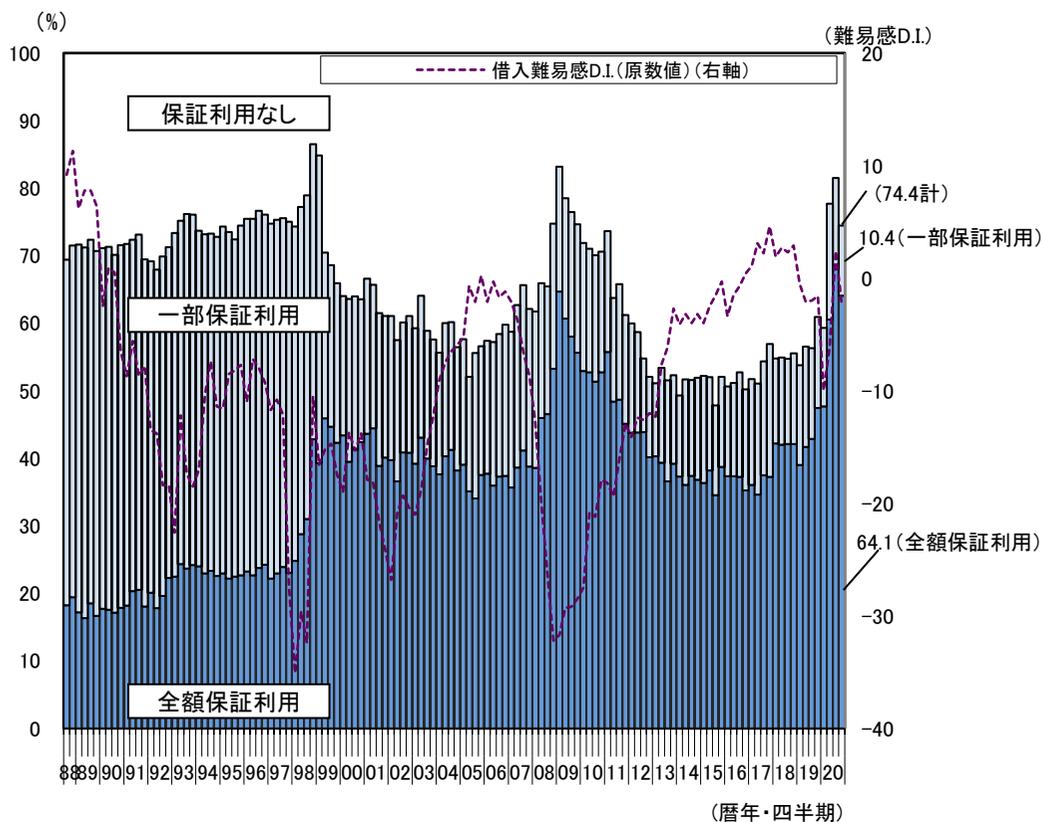
(注) 1.複数回答のため、合計は100を超える。
2.「資金用途」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計した借入金に係るものである。

(4) - 1 保証利用状況

・今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、減少した。

| | 2019/10-12 | 2020/1-3 | 4-6 | 7-9 | 10-12 |
|--------------|------------|----------|------|------|-------|
| 保証利用企業の割合 | 60.9 | 59.3 | 77.7 | 81.5 | 74.4 |
| 全額利用 | 47.5 | 47.7 | 60.6 | 68.0 | 64.1 |
| 一部利用 | 13.5 | 11.6 | 17.1 | 13.5 | 10.4 |
| 保証利用がない企業の割合 | 39.1 | 40.7 | 22.3 | 18.5 | 25.6 |

借入企業に対する保証利用企業の割合(季節調整値)



(注)当該四半期中に新規借入を行った企業数について、「保証利用なし」、「保証付きの借入のみ(全額保証利用)」、「保証付きの借入と保証を利用しない借入を併用(一部保証利用)」の区分で集計したものの。

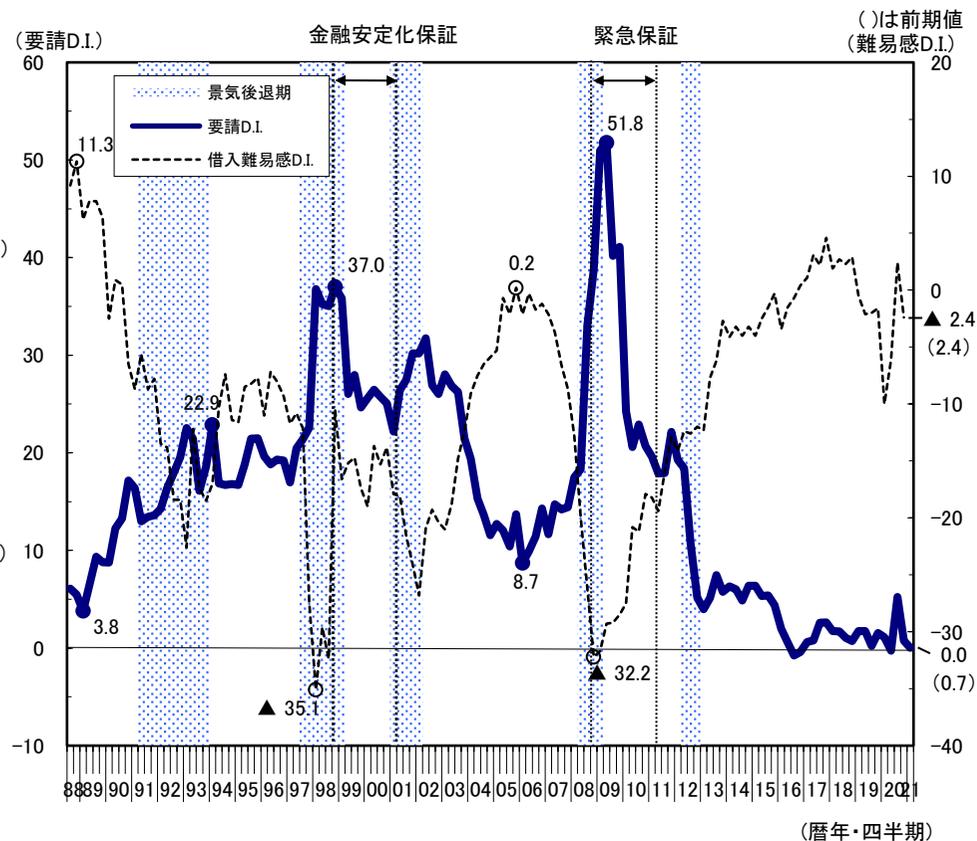
(4) - 2 金融機関からの保証利用要請

・来期(21年1~3月)における保証利用要請D.I.は、0.0と横ばいとなった。

| | 2019/10-12 | 2020/1-3 | 4-6 | 7-9 | 10-12 | 2021/1-3 |
|--------------|------------|----------|-------|-----|-------|----------|
| 要請D.I. 見通し | 1.5 | 1.1 | ▲ 0.3 | 5.2 | 0.7 | 0.0 |
| 借入難易感D.I. 実績 | ▲ 1.6 | ▲ 10.0 | ▲ 6.1 | 2.4 | ▲ 2.4 | |

(注) 1.前期比。要請D.I.は、「強くなると思う」企業の割合-「弱くなると思う」企業の割合。季節調整値。
2.借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

金融機関からの要請D.I.(季節調整値)及び借入難易感D.I.の推移



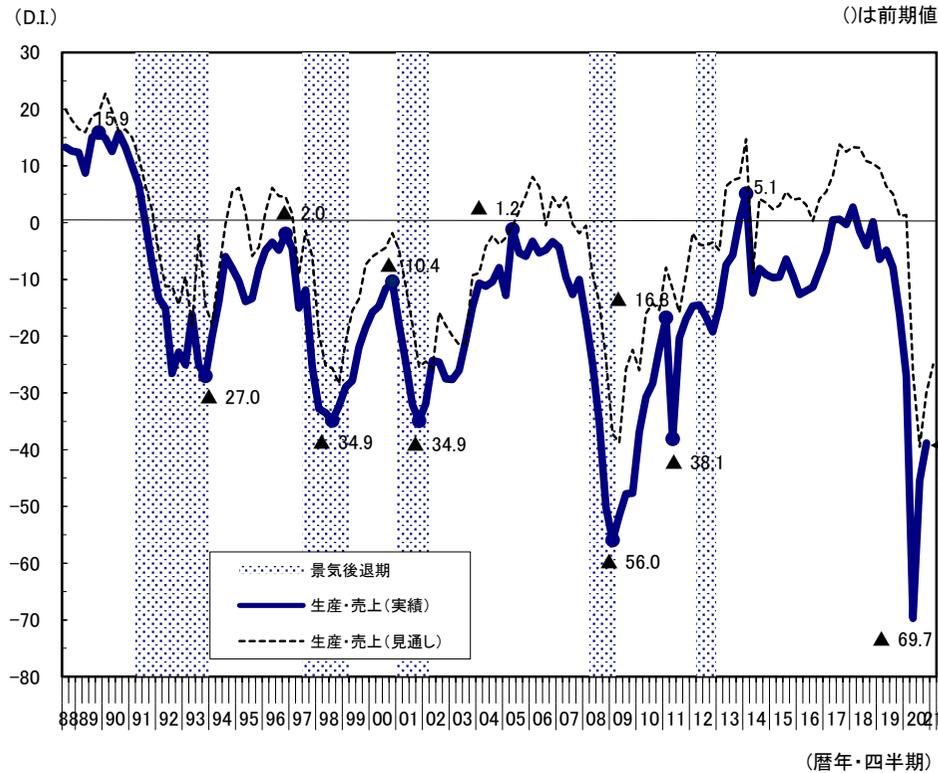
(5) 生産・売上

・生産・売上D.I.は、▲38.8とマイナス幅が縮小した。
来期の見通しについては、▲25.0となっている。

| | | 2019/10-12 | 2020/1-3 | 4-6 | 7-9 | 10-12 | 2021/1-3 |
|-----------|-----|------------|----------|-------|-------|-------|----------|
| 生産・売上D.I. | 実績 | ▲16.2 | ▲27.0 | ▲69.7 | ▲45.5 | ▲38.8 | |
| | 見通し | 1.2 | 1.4 | ▲26.5 | ▲39.5 | ▲30.0 | ▲25.0 |

(注) 前期比。生産・売上D.I.は、「増加」企業の割合-「減少」企業の割合。季節調整値。

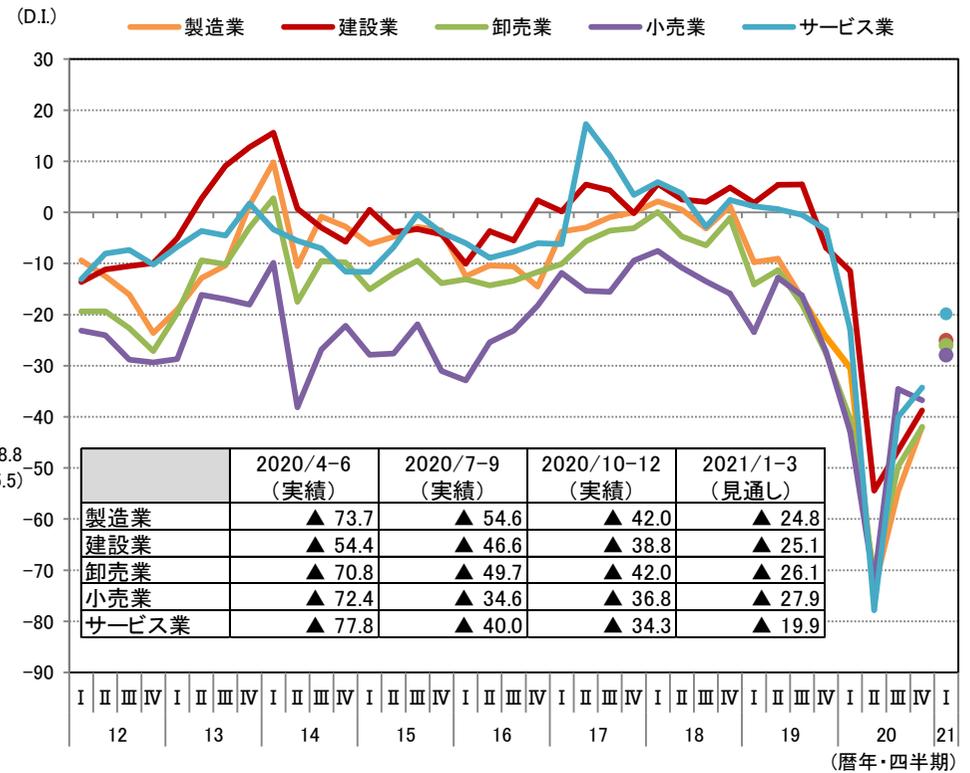
生産・売上D.I.(季節調整値)の推移



生産・売上(業種別)

・生産・売上D.I.(業種別)は、小売業でマイナス幅がやや拡大した一方、製造業でマイナス幅が大幅に縮小、建設業、卸売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。

業種別生産・売上D.I.(季節調整値)の推移



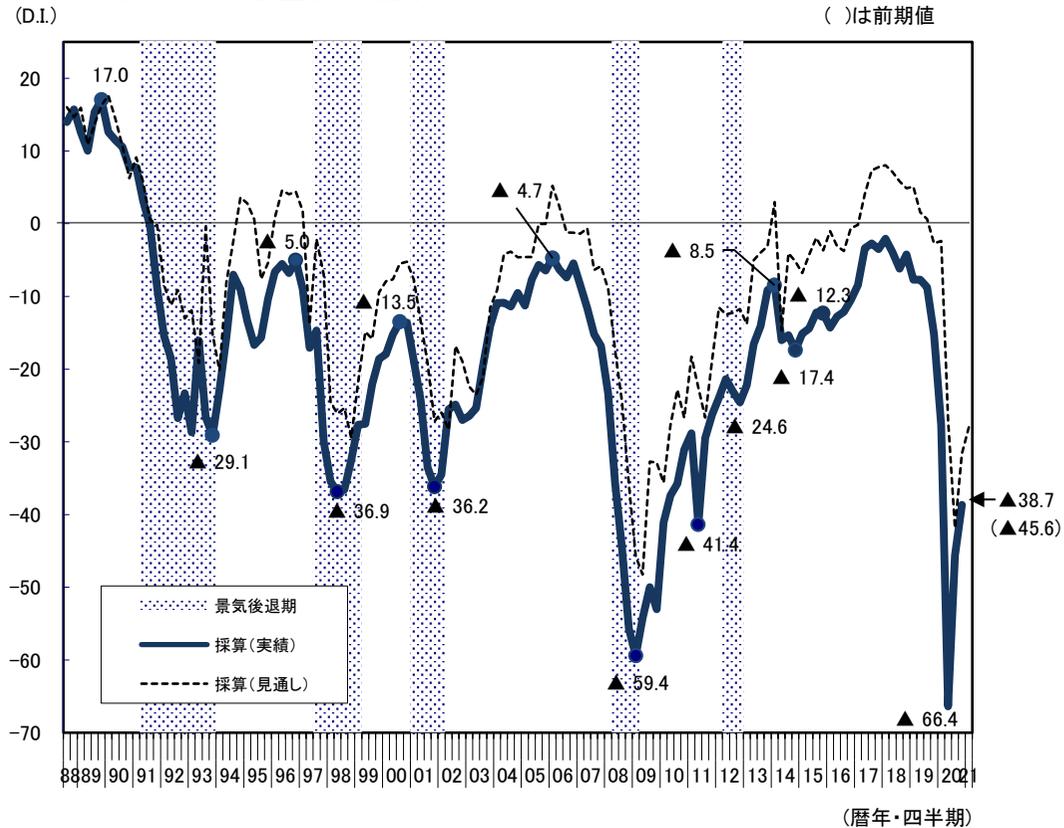
(6) 採算

・採算D.I.は、▲38.7とマイナス幅が縮小した。
来期の見通しは、▲28.0となっている。

| | 2019/10-12 | 2020/1-3 | 4-6 | 7-9 | 10-12 | 2021/1-3 |
|--------|------------|----------|-------|-------|-------|----------|
| 採算D.I. | 実績 | ▲15.2 | ▲27.8 | ▲66.4 | ▲45.6 | ▲38.7 |
| | 見通し | ▲2.7 | ▲2.4 | ▲27.0 | ▲41.9 | ▲31.6 |

(注) 前期比。採算D.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

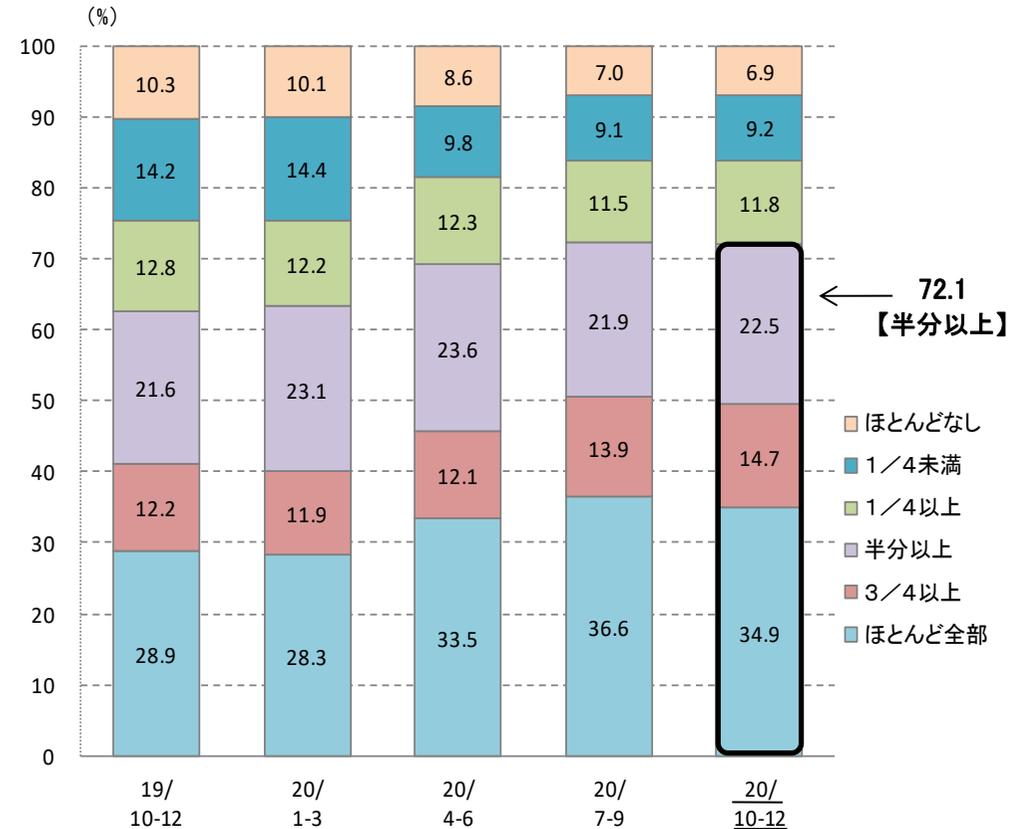
採算D.I.(季節調整値)の推移



(参考) 保証利用割合

・借入総残高に占める信用保証利用の割合については、半分以上と回答した企業が72.1%と横ばいとなった。

保証利用割合の推移



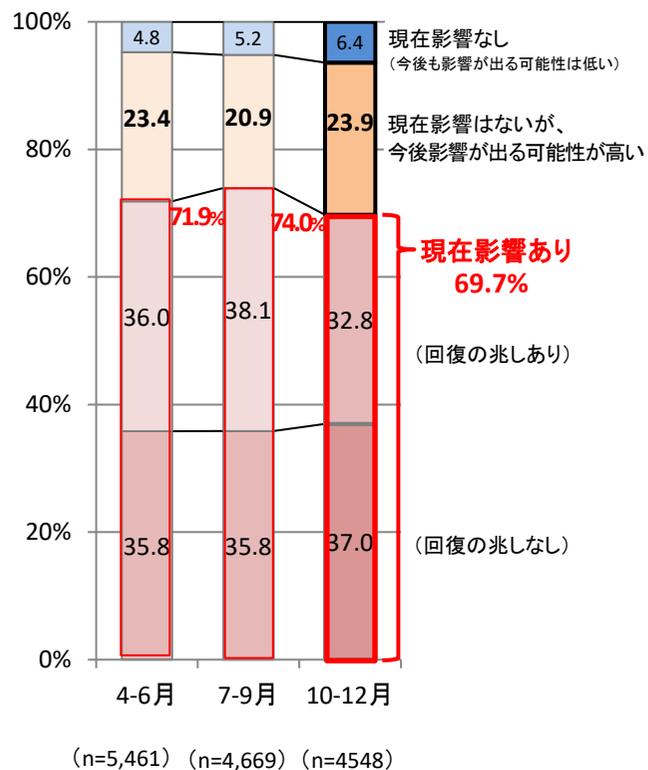
特別調査

新型コロナウイルス感染症の影響及び金融支援の利用状況について

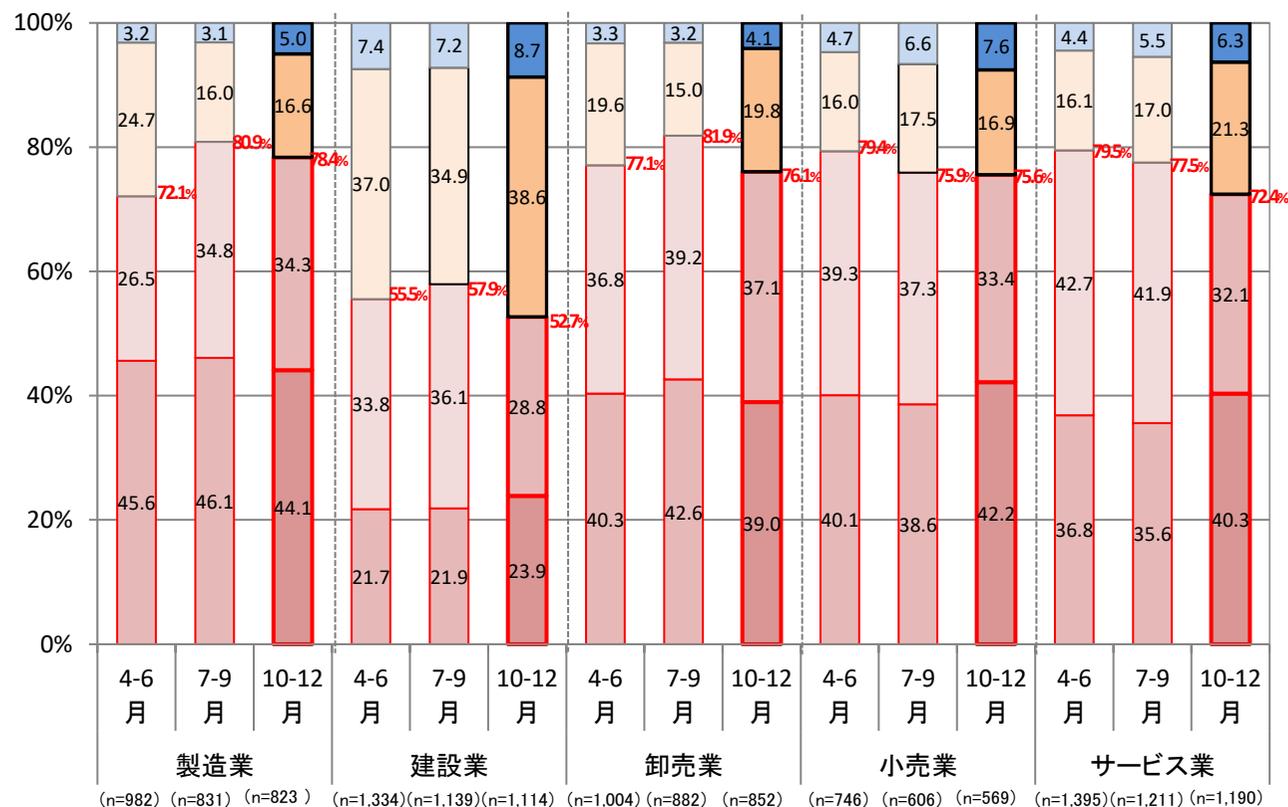
1. 新型コロナウイルス感染症の影響について

- ・新型コロナウイルス感染症による企業活動へのマイナスの影響について、「現在影響あり」と回答した企業は69.7%と、前回調査に比べ低下しているが、「現在影響はないが、今後影響が出る可能性が高い」と回答した企業は23.9%に上昇している。
- ・業種別にみると、建設業を除く全ての業種で、「現在影響あり」が引き続き7～8割となっている。

(1) 企業活動へのマイナスの影響



(2) 企業活動へのマイナスの影響(業種別)



(注)「現在影響あり」は「現在影響あり(回復の兆しあり)」「同(回復の兆しなし)」の回答企業数の合計から割合を算出

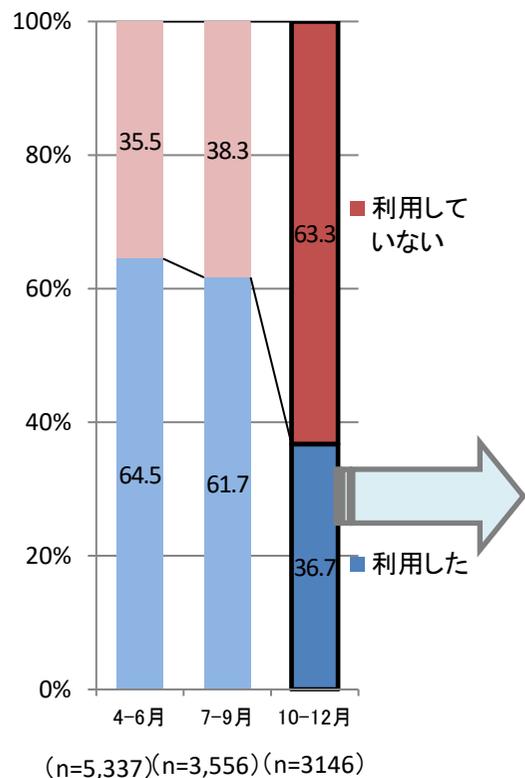
特別調査

新型コロナウイルス感染症の影響及び金融支援の利用状況について

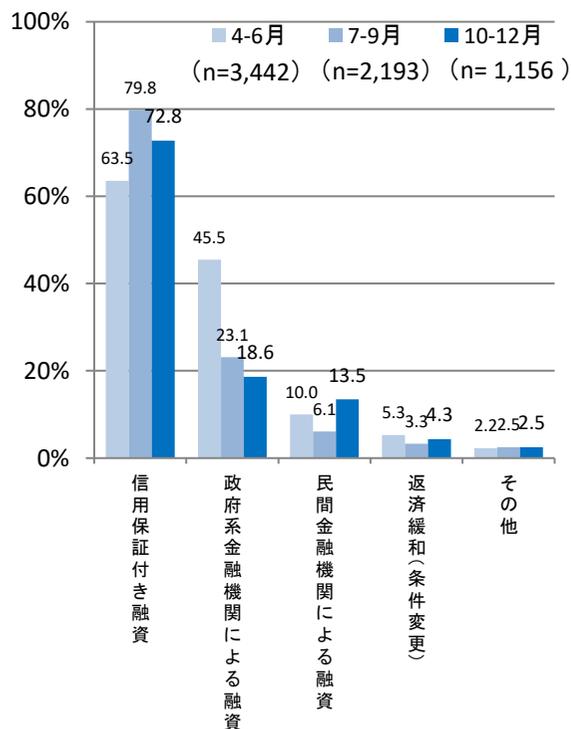
2. 金融支援の利用状況について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う資金繰り対策として、20年10～12月に金融支援を「利用した」と回答した企業は36.7%に低下している。また、利用した金融支援をみると、「信用保証付き融資」が72.8%と最も高い。
- ・金融支援を利用した理由については、「既存の取引先(仕入・外注・借入先等)への支払・返済など取引継続のため」が最も多く、次いで「人件費支払など従業員の雇用維持のため」が続いており、回答割合は、いずれも60%を超えている。

(1) 金融支援の利用状況

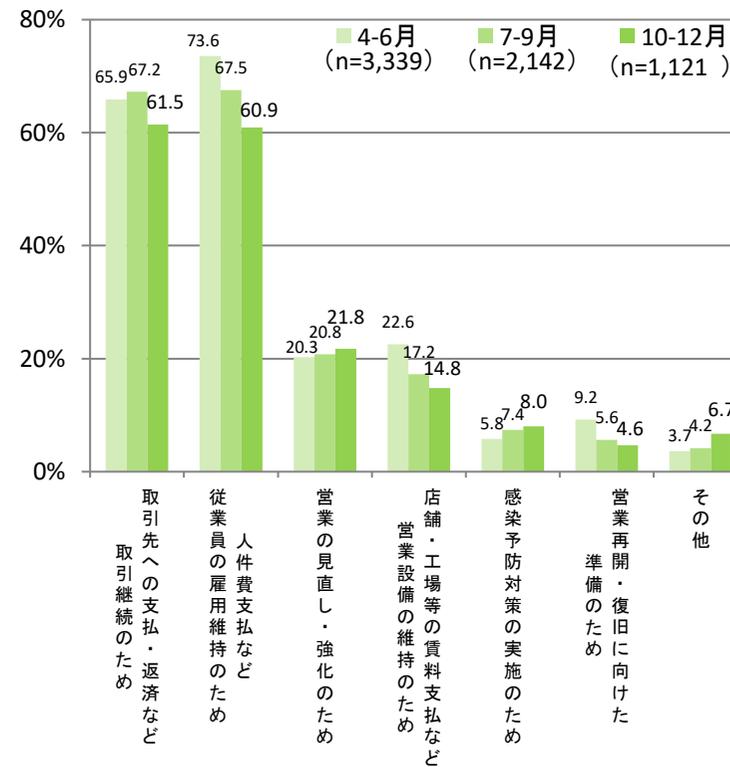


(注) 4-6月は、20年3月における金融支援の利用を含む。
(本頁における他のグラフ内の「4~6月」も同じ)



(注1) 複数回答のため、合計は100%を超える。
(注2) 信用保証付き融資や政府系金融機関による融資には、当該融資を利用する前提で利用された民間金融機関のつなぎ融資を含む。

(2) 金融支援を利用した理由



(注) 複数回答のため、合計は100%を超える。

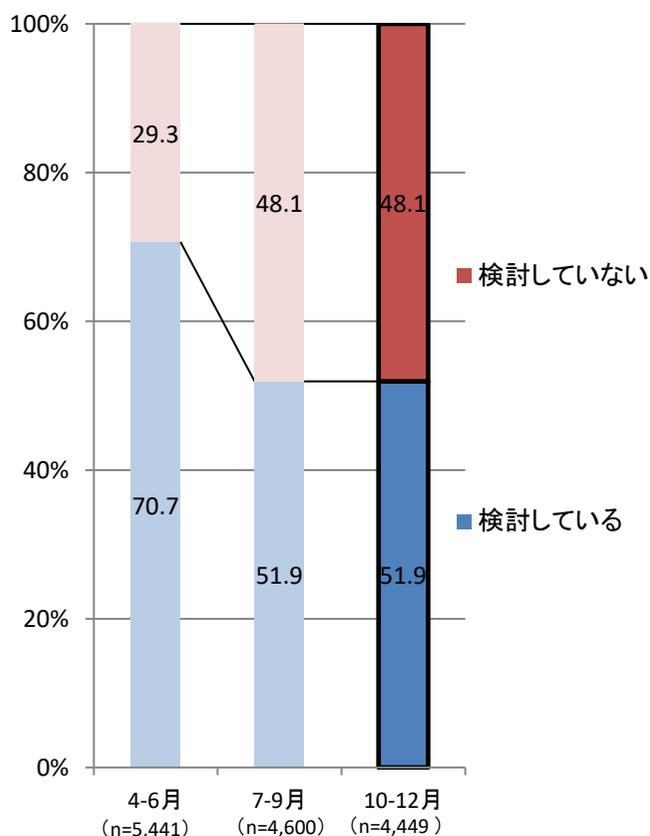
特別調査

新型コロナウイルス感染症の影響及び金融支援の利用状況について

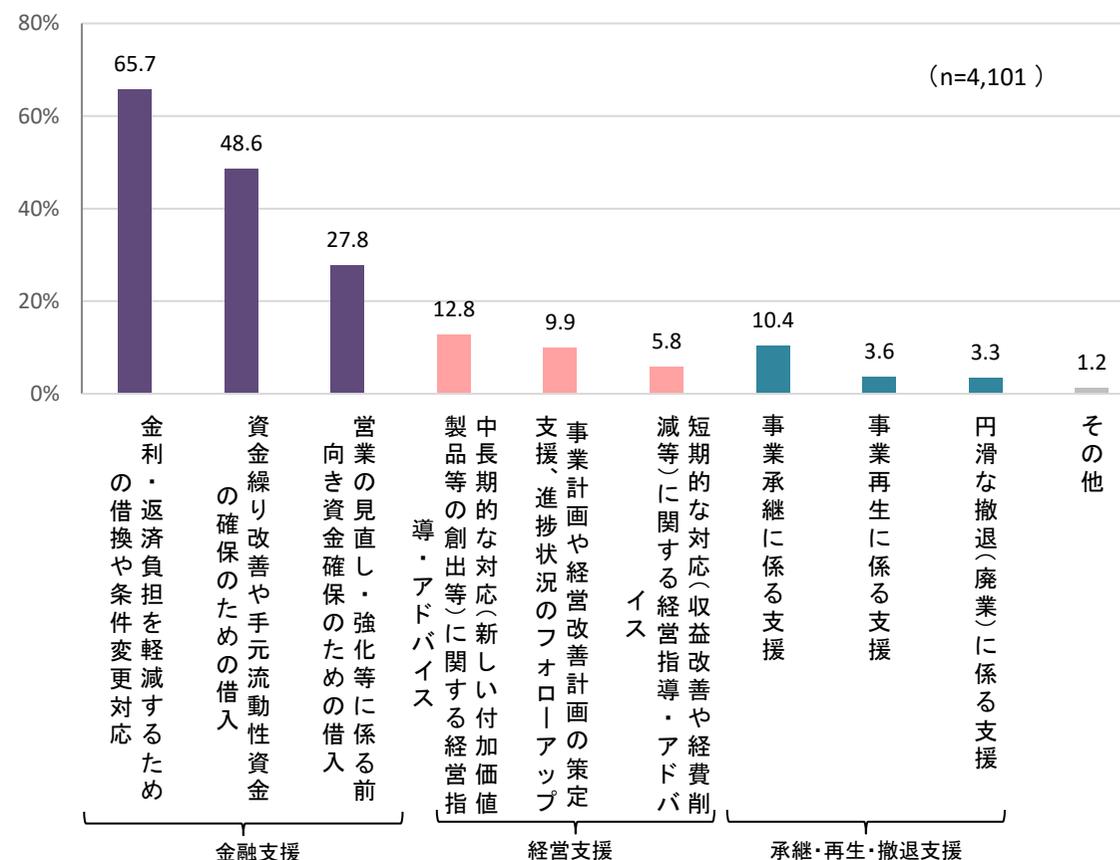
3. 今後の金融支援の利用に係る検討状況について

- ・今後の金融支援の利用に係る検討状況については、「検討している」と回答した企業が51.9%と前回調査と同様となっている。
- ・今後、必要とする金融支援等については、「金利・返済負担を軽減するための借換や条件変更対応」が最も高く、次いで「資金繰り改善や手元流動性資金の確保のための借入」、「営業の見直し・強化等に係る前向き資金確保のための借入」が続いており、金融支援のニーズが高くなっている。

(1) 今後の金融支援の利用に係る検討状況



(2) 今後、必要とする金融支援等について



(注) 複数回答のため、合計は100%を超える。